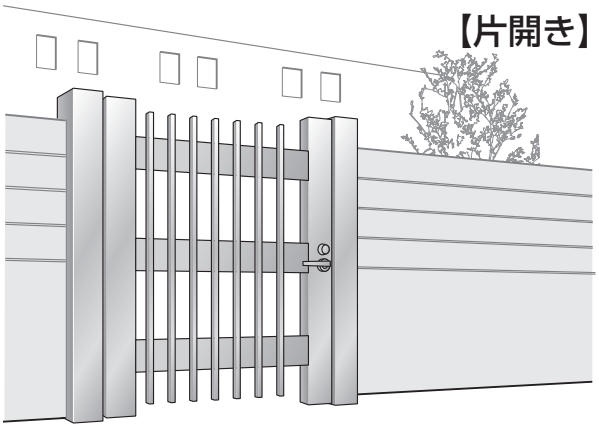
LIXIL

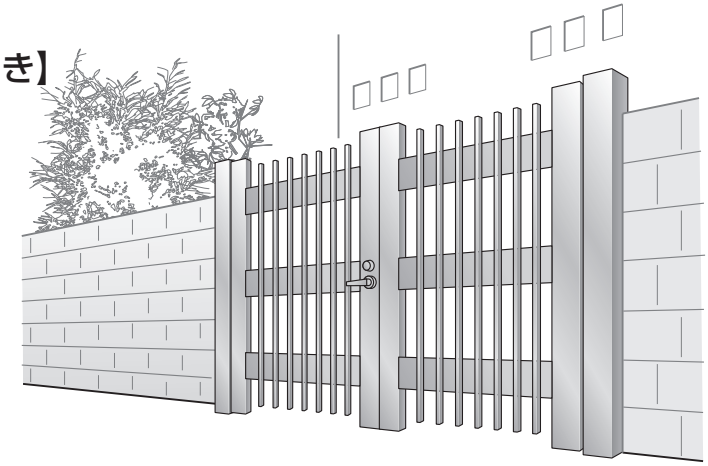
取扱説明書

通用口門扉

【片開き】



【両開き】



この取扱説明書の内容は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

⚠警 告

取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

⚠注 意

取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

行なってはいけない内容です。

必ず実行していただく内容です。

お願い　取扱いを誤った場合に、製品の損傷または故障のおそれがある内容を示しています。

もくじ

	ページ
安全上のご注意とお願い	1
各部の名称	3
使いかた	5
お手入れ	9
修理と保証	10
保証書	11

保証書付き

●製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになったあとは、たいせつに保存してください。
保証書は「お引き渡し日、販売店名」などの記入を必ず確かめてください。

安全上のご注意とお願い

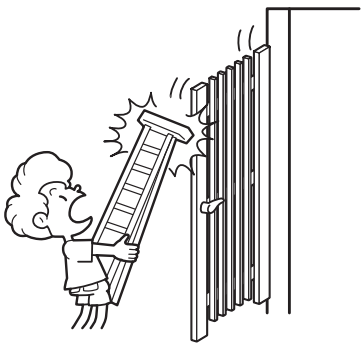
⚠注 意

禁 止



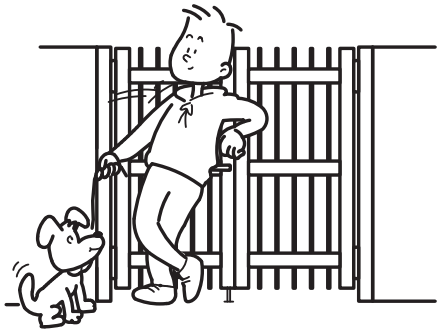
●分解・改造厳禁!

故障や破損のおそれがあります。



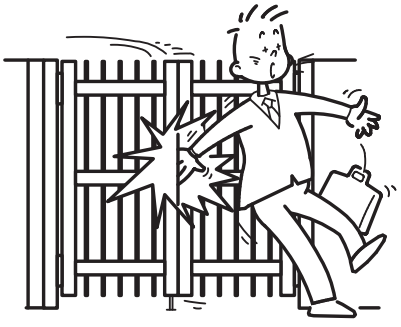
●強い衝撃厳禁!

製品が変形・破損したり、ケガをするおそれがあります。



●商品に人が乗る、物をのせる、吊したりしない!寄りかかり、ぶら下がり厳禁!

門扉本体や部品が外れたり、破損してケガをするおそれがあります。



●開閉時は手や指をはさまれない!

門扉を開閉するときは、門柱と扉の間や、扉と扉の間、錠のハンドル部分などに手や足をはさまないように注意してください。特に風の強いときは、急に開閉しますので注意してください。

⚠注 意

必ず実行



●開閉をする前に周囲に人がいないこと、障害物がないことを確認

扉にはさまれたりぶつかったりして、ケガをするおそれがあります。特に、小さいお子様は思わぬケガや事故につながりやすいため注意してください。



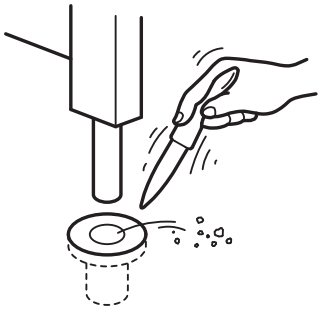
●天候状況にも注意!

強風時には必ず施錠し落し棒をおろしてください。強風で扉が開き、人に当たってケガをするおそれがあります。



●落し棒は落し棒受けにしっかり差込む!

落し棒の付いている側の門扉は、必ず落し棒を下げて固定してください。差込みが不十分な場合、扉が開いたりして落し棒や扉が破損する場合があります。



●落し棒受けを随時清掃!

清掃が不十分だと落とし棒のかかりが浅くなり、強風で扉が開き、人に当たるおそれがあります。

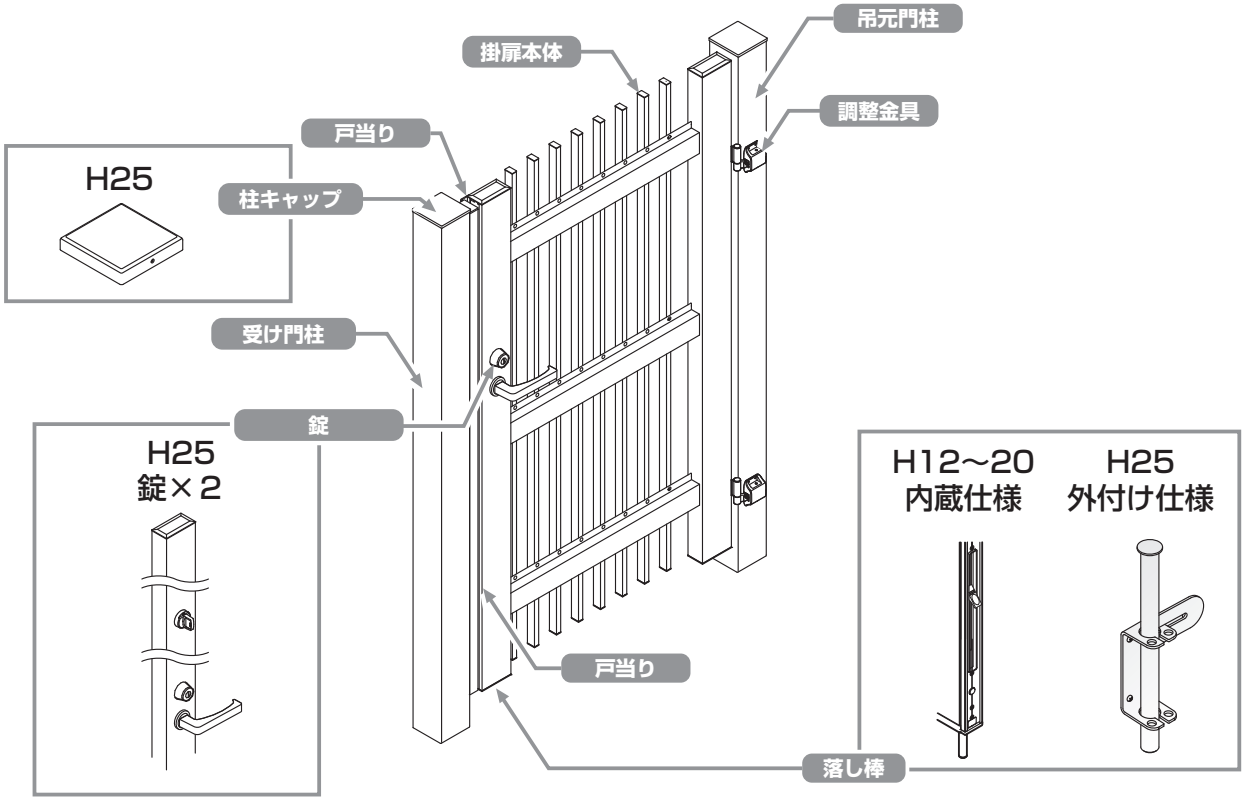
お 願 い

・落し棒が落ちている時、凍結時、積雪時は無理に開閉すると破損することがあります。
・門扉の付近で農薬や殺虫剤などの薬剤を使用する場合は、表面に付着しないようにしてください。表面が変色することがあります。
・製品の設置や修理は必ず専門業者に依頼してください。人身事故や物損事故につながることがあります。

各部の名称

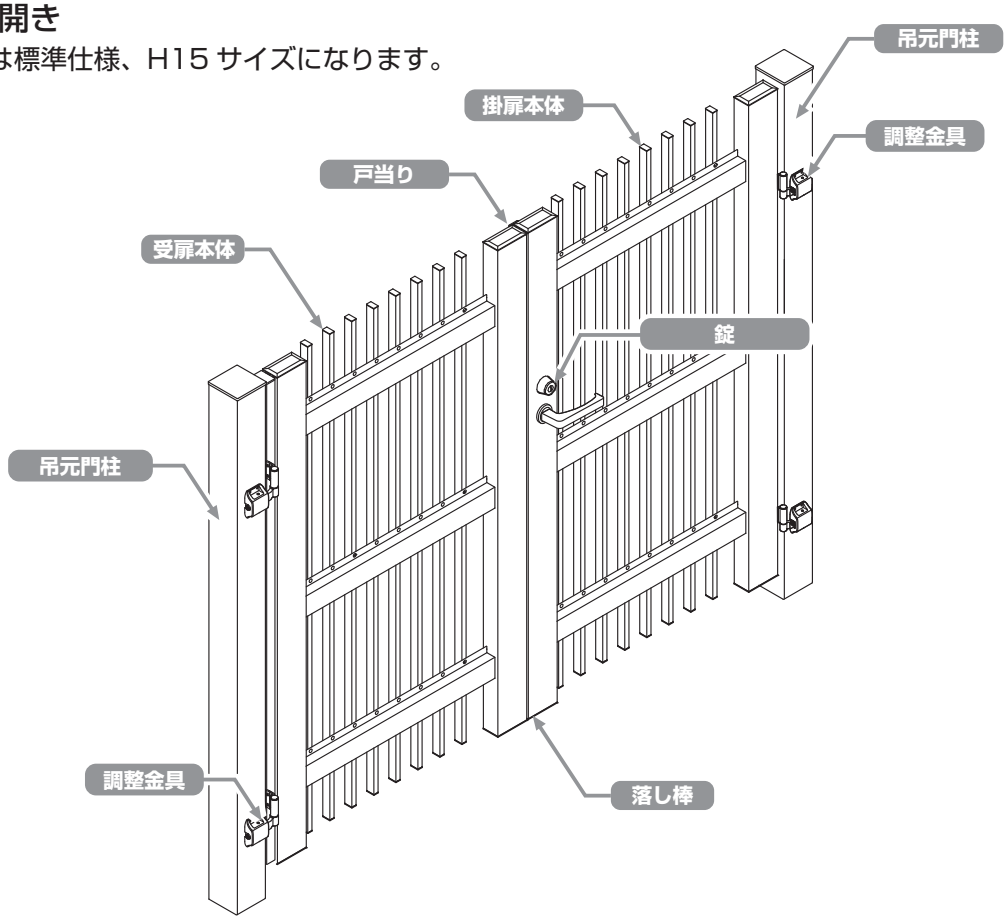
●片開き

※図は標準仕様、H15 サイズになります。



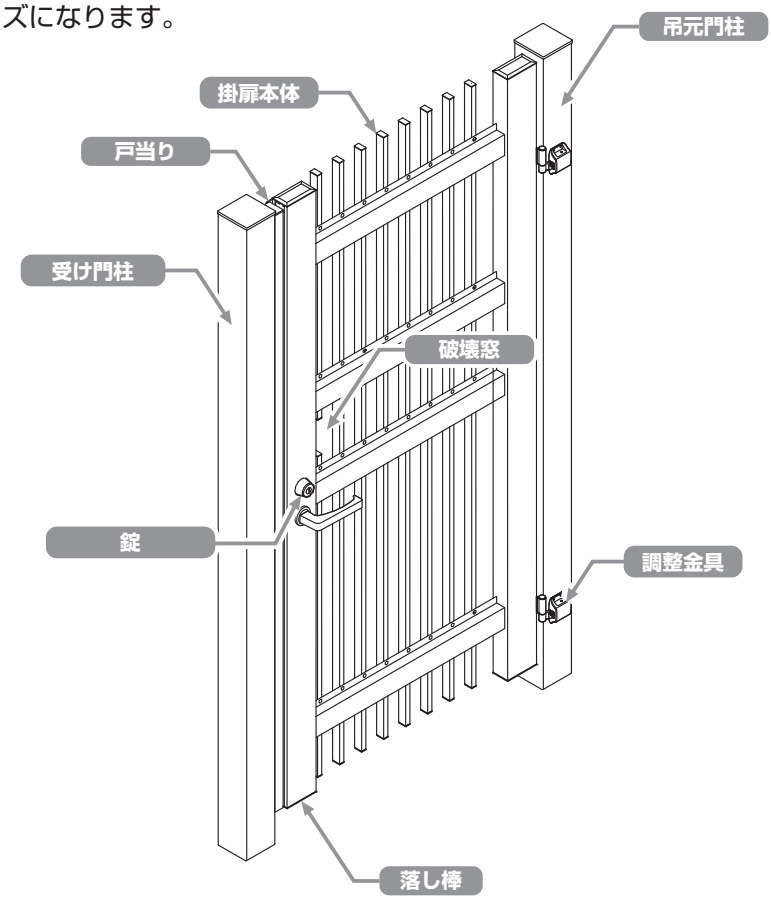
●両開き

※図は標準仕様、H15 サイズになります。



●破壊窓仕様

※図は H18 サイズになります。



⚠注 意

●ケガをするおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・アクリルパネルにヒビや割れが発生した場合は、お買い上げの販売店(工事店)にご連絡ください。
・アクリルパネルが破損した場合は、安全のために速やかに破片を処理してください。なお、破片の処理には十分に気をつけてください。

破壊窓(アクリル樹脂板)のお手入れ：定期的に

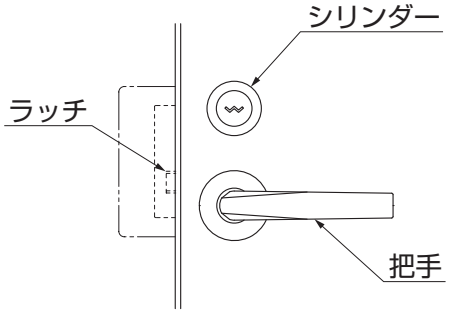
アクリル樹脂板の美しさを保つ効果的な方法は、定期的な水洗いです。年に数回、うすめた中性洗剤と併用した水洗いを行うだけで、大きな効果が得られます。

お願い
・鳥のフンなどを取り除く際は、パネルに傷がつかないようご注意ください。
・洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう十分洗い流してください。
・シンナー、ベンジン、ガラスクリーナーなどの溶剤、研磨剤、熱湯、乾いた布を使用しますと傷・破損・変形のおそれがありますので、使用しないでください。
・古くなったパネルは、早めに交換してください。強風・衝撃で破損しやすくなります。

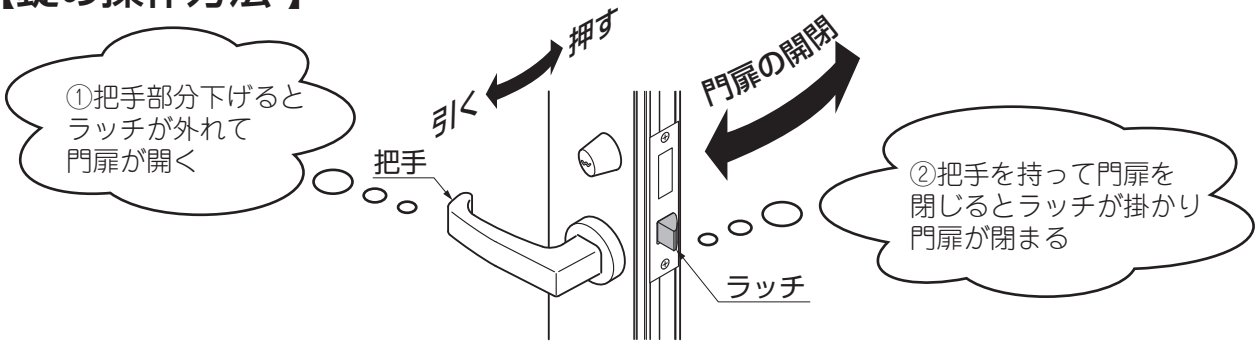
使いかた

錠の使いかた

※図は道路側から見た右勝手の場合を示します。



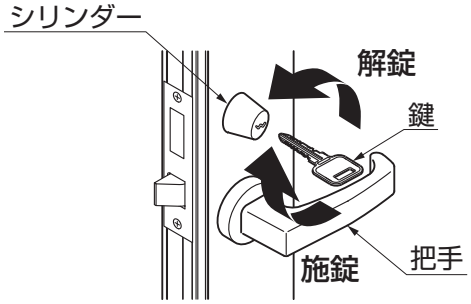
【錠の操作方法 】



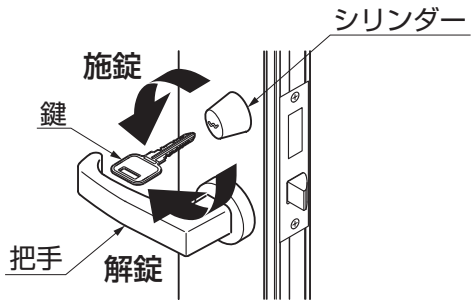
お願い ・施工方法により、フックボルトのねじ部が飛び出す場合があります。フックボルトのねじ部に手を触れないでください。ケガをするおそれがあります。

【片面サムターンの操作方法 】

・道路側



シリンダーが右側にある場合

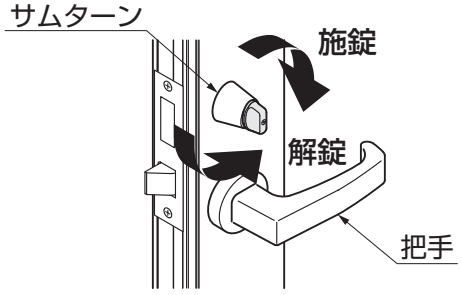


シリンダーが左側にある場合

・家側



サムターンが左側にある場合



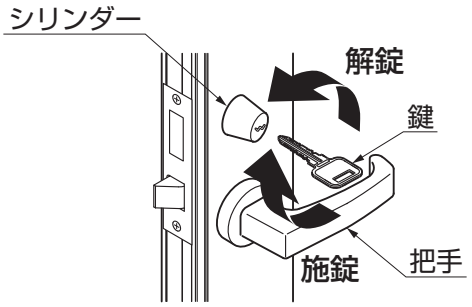
サムターンが右側にある場合

お願い ・H25サイズの補助錠は風の強い日は必ず施錠してください。

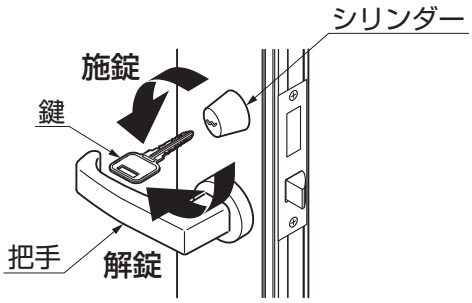
錠の使いかた

【両面シリンダーの操作方法 】

・道路側

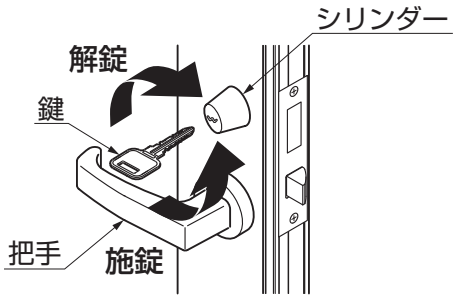


シリンダーが右側にある場合

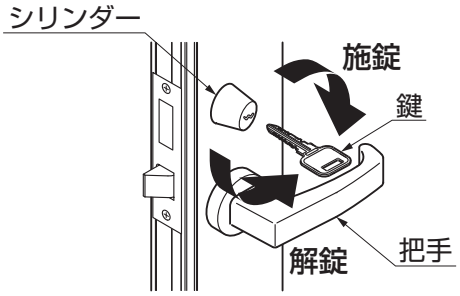


シリンダーが左側にある場合

・家側



シリンダーが左側にある場合



シリンダーが右側にある場合

お願い

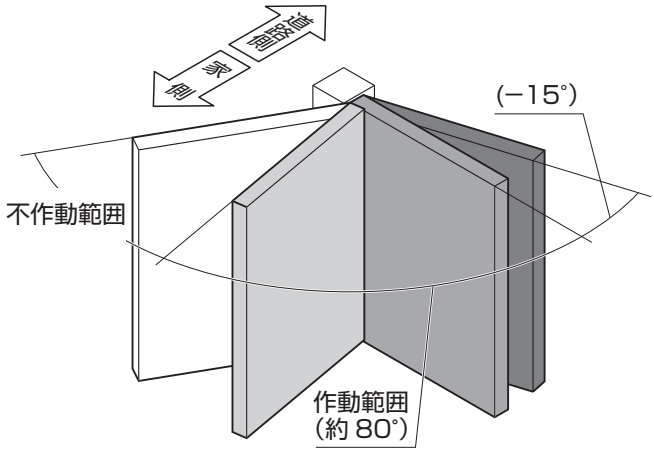
・錠に関する部品の交換は、お買い上げの販売店（工事店）にご相談ください。
・キーはメーカー純正のものをご使用ください。キーの作製を行うには、キーNoが必要です。キーNoをP.9の「キー NO」の欄に控えてください。（英数字で刻印）
・鍵穴に油や異物を入れないでください。錠の操作ができなくなります。
・鍵がスムーズに動かなくなったら、錠前専用潤滑剤を鍵穴に注入してください。錠前専用潤滑剤以外は使用しないでください。
・錠が凍結して動かなくなった場合はお湯をかけ暖め、開錠後すみやかに水分を拭取り、乾燥させてください。

使いかた

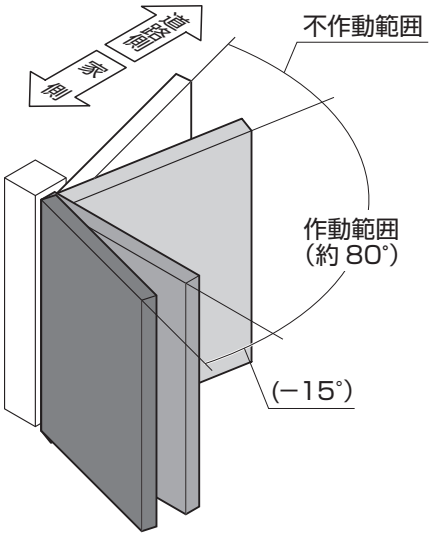
オートクローザーの使いかた (オプション)

・門扉を開いた後、作動範囲内であれば自動的に閉まります。門扉を閉じる場合は作動範囲まで閉めてください。
・門扉を不作動範囲まで開くと、簡易的に止められます。

【内開きの場合】



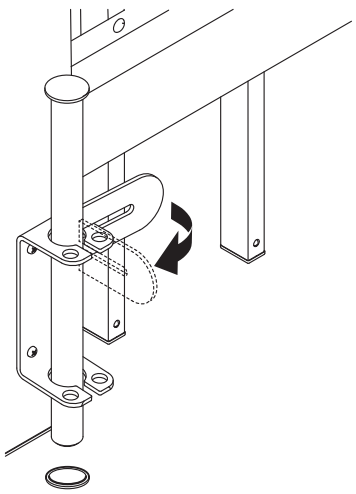
【外開きの場合】



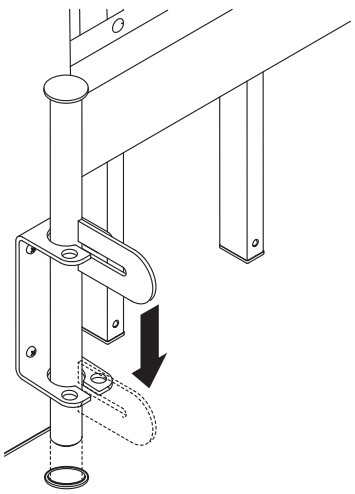
補 足
・作動範囲・不作動範囲は目安の値です。
・オートクローザーの作動範囲は0°～約80°です。またラッチが確実に掛かるようにするため更に0°から−15°まで動きます。
・不作動範囲内では扉を任意の位置で止めることができます。
※設置状況によっては80°以上でも作動する場合があります。
※設置状況で90°以上開けない場合は止められない場合があります。
※作動範囲で扉を止めたい場合は落し棒等で止めてください。

落し棒(外付け)の使いかた

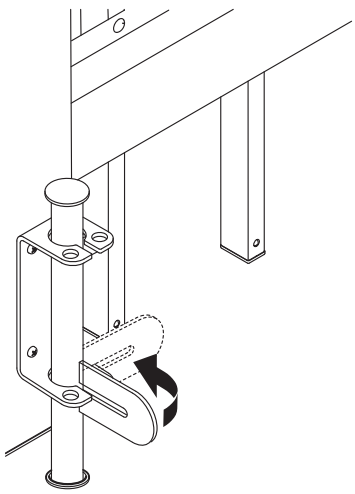
①落し棒つまみを90°回転

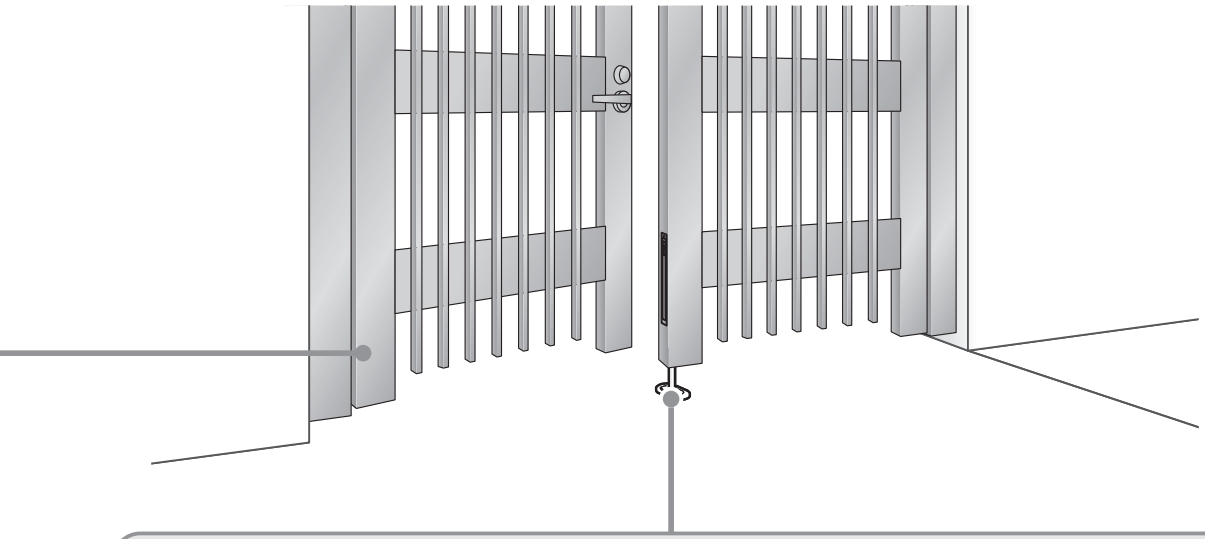


②下げる
③落し棒受けに差込む



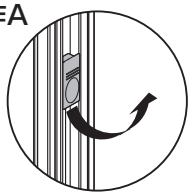
④落し棒つまみを90°回転
※つまみを元に戻す



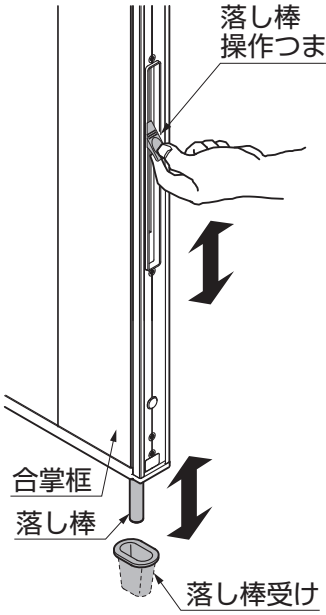


落し棒(内蔵型)の使いかた

操作A

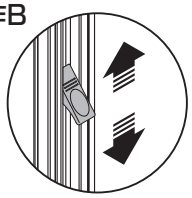


①落し棒を操作するには、落し棒操作つまみを一旦おこします。(操作A)



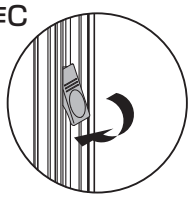
②①で起こしたつまみをそのまま上下させて落し棒を操作します。(操作B)

操作B



③一旦起こした落し棒操作つまみを元にもどして、固定します。(操作C,D)

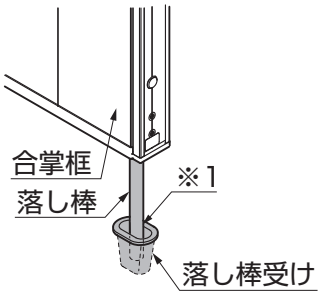
操作C



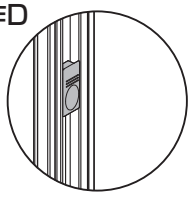
お願い

●扉を開閉時は、しっかりと落し棒操作つまみを倒す！

つまみを起こしたまま扉を開閉すると、落し棒や門扉が破損することがあります。



操作D



補 足

・門扉を固定する場合は、落し棒が落し棒受けに入っていることを確認してください。(※1)

お手入れ

アルミ製品のお手入れ：定期的に



お願い お掃除に下記のものは使用しないでください。

・ブラシ



・シンナー、ベンジンなどの有機溶剤



落し棒受け お掃除：定期的に



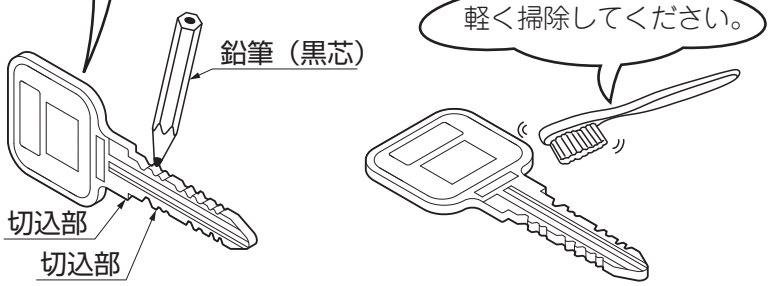
落し棒受け内のゴミを割り箸などでほぐす→水をかけて中のゴミを洗い流す

お願い ・落し棒受けの中のゴミ・土・砂がたまった場合、落し棒受け内の掃除をしてください。

錠・シリンダーのお手入れ：定期的に

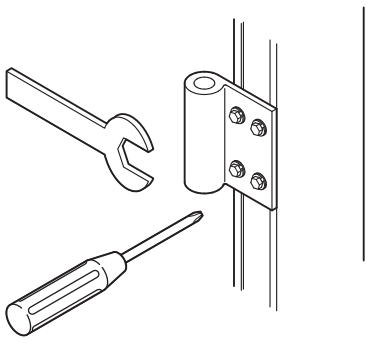
鍵の切込部を鉛筆でなぞるように黒く塗り、数回鍵穴に抜き差しをしてください。

鍵を歯ブラシ等で軽く掃除してください。



お願い ・鍵に付着した鉛筆の黒い粉は、布等でふきとってください。
付着したまま使用されますと衣服等を汚すことがあります。

ねじ・ボルト部 定期点検



お願い 定期的にねじやボルトにゆるみが無いかご確認いただき、ゆるみがある場合には締め直しを行ってください。

修理と保証

（1）保証書について

●保証書は必ず施工店名、施工日などの所定事項を確かめて施工店からお受け取りください。
●保証書記載内容を確認のうえ、大切に保管してください。

（2）保証期間

お願い

●保証期間内でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

施工完了日（お引渡し日）▼	1年▼	2年▼
電装部品	無料	有料
電装部品以外	無料	有料

（3）修理について

●製品に異常が生じたときは使用を中止し、お買い上げの販売店（工事店）にご連絡ください。
●修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

故障の状況	できるだけ詳しく	ご氏名	
製品名		ご住所	
施工日	年　月　日	電話番号	
施工店名		キーNO	

●消耗品は寿命があり、有償保証となります。

（4）点検および修理料金のしくみ

●修理料金は技術料、部品代、出張料などで構成されています。
・技術料は、点検および故障個所の修理および部品交換、調整などの作業にかかる費用です。
・部品代は、修理に使用した部品代です。
・出張料は、修理士を派遣する場合の費用です。なお修理により交換した部品、製品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。

通用口門扉 保証書

製造No. （商品名シールNo.）		
保証期間	対象部品	期間（お引渡し日より）
	本体	2ヶ年
	但し電装部品	1ヶ年
お引渡し日	年　月　日	
お客様	ご住所	
	お名前　様	
	電話　（　）	

本書はお引渡し日から左記期間中故障が発生した場合には、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記記載内容をご参照ください。

※お引渡し日、お客様名、施工店名及び製造No.が不明の場合は、保証しかねますので施工店に必要事項の記入をご依頼ください。又本書は再発行致しませんので大切に保管してください。

施工店	住所・店名　印 電話　（　）

株式会社 LIXIL

1. **保証者**
   株式会社LIXIL
2. **保証の対象者**
   当該商品の所有者
3. **対象商品**
   LIXILブランドで発売しているエクステリア商品、ガーデンリビングファニチャー&グッズ商品
4. **保証内容**
   取扱い説明書・表示ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に発生した不具合については、下記に例示する免責事項を除き、無料修理いたします。
5. **保証期間**
   当該商品の施工完了日（お引き渡し日）から起算して2年間。（電装部品及び木製部品については1年間）、施工を伴わない商品についてはご購入された日から起算して1年間。ただし、表記期間内であっても、開き門扉および引戸門扉は開閉回数が20,000回（往復10,000回）を超えた場合は保証対象外です。
6. **品質保証の免責事項**
   保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。
   ①当社の手配によらない第三者の加工、組立て、施工（基礎工事、取付工事、シーリング工事、電気工事など）、管理、メンテナンスなどの不備に起因する不具合（海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色、腐食、基礎寸法や取り付け寸法違いなどによる性能低下、工事中の養生不良による変色や腐食など）。
   ②取扱い説明書や表示ラベル、カタログなどに記載された使用方法からの逸脱及び適切な維持管理を行わなかったことなどに起因する不具合（例えば、雪下ろしや操作上の注意などの注意シール内容の不励行による破損など）。
   ③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする地域や場所に取り付けられた場合の不具合（例えば、積雪強度、耐風圧強度、寒冷地での作動性や凍結に起因する不具合など）。
   ④建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合。
   ⑤商品又は部品の経年変化（使用に伴う消耗・摩耗など。木製品のさくれ、ヒビ割れ、変色、ねじ、ボルトの緩みや釘の浮きなど）や経年劣化（樹脂部分の変質・変色など）またはこれらに伴う不具合、および電池・電球などの消耗品の損傷や故障。
   ⑥商品又は部品の材料特性に伴う現象（例えば、木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、節抜け、樹液のにじみ出しなど）。
   ⑦自然現象や住環境に起因する結露などに起因する不具合（例えば、結露による凍結、サビ、カビ発生など）。
   ⑧環境が特に悪い地域又は場所に取り付けられたことに起因する腐食及び不具合（例えば、海岸地帯での塩害や大気中の砂塵・煤煙・金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車や給湯器などの排気ガスが付着して起きる腐食や塗装はく離、異常な高温・低温・多湿による不具合、軟弱地盤による沈下や、倒壊など）。
   ⑨天災その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など）により商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合。
   ⑩実用化されている技術では予測不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合。
   ⑪犬、猫、鳥、ねずみ、虫などの小動物の害、またはつるや根などの植物の害、またはそれに関する不具合。
   ⑫所有者様や第三者による不当な修理や改造（必要部品の取り外し含む）に起因する不具合。
   ⑬本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合。
   ⑭犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合および盗難。

※保証期間経過後の修理・交換などは有料といたします。
※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、最寄りの当社支店・営業所・お客さま相談センターにお問い合わせください。
※本商品保証は日本国内においてのみ有効です。
（This warranty is availed only in Japan.）

※当社の商品に関し、上記に記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。
※保証期間中に故障・損傷などの不具合が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店に修理を依頼してください。当社支店・営業所、お客さま相談センターにてもご相談を承ります。

会社や商品についての情報のご確認は、LIXILオフィシャルサイトまで

https://www.lixil.co.jp/

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CAD データなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで
受付時間/月～金 9:00～18:00　土・日・祝日 9:00～17:00（ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く）
TEL. **0120-126-001**

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで
受付時間/月～金 9:00～18:00（祝日、年末年始、夏期休暇等を除く）
TEL. **0120-413-433**
https://www.lixil.co.jp/support/

当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社の「個人情報保護方針」に記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「個人情報保護方針」をご覧ください。

JZZ642509
取説コード
EXM-260
JZZ642509
202603_1049